

平成30年度
入学者選抜要項

平成29年6月



沖縄県立芸術大学

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地

電話 (098)882-5080

<http://www.okigei.ac.jp>

第2 募集人員

学部	学科	専攻	コース	定員	募集人員					
					一般入試		推薦入試		社会人入試	私費外国人留学生入試
					前期日程	後期日程	県内枠	全国枠		
美術工芸学部	美術学科	絵画専攻		10	4	4	1	1	0	若干名
		彫刻専攻		5	3	2	0	0	0	若干名
		芸術学専攻		6	4	0	1	1	0	若干名
	デザイン工芸学科	デザイン専攻		20	16	0	2	2	0	若干名
		工芸専攻		24	18	0	3	3	0	若干名
	計				65	45	6	7	7	0
音楽学部	音楽学科	音楽表現専攻	声楽	23	17	0	3	3	0	若干名
			ピアノ							
			弦楽							
			管打楽							
		作曲理論								
	音楽文化専攻	沖縄文化	7	4	0	2	1	0	若干名	
		音楽学								
琉球芸能専攻	琉球古典音楽	10	5	0	4	1	若干名	若干名		
	琉球舞踊組踊									
計				40	26	0	9	5	若干名	若干名
合計				105	71	6	16	12	若干名	若干名

注1：推薦入試の入学手続き完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加える。

注2：推薦入試の県内、全国それぞれの枠で定員に満たなかった人員は他方の枠に算入することがある。

注3：社会人入試の募集人員は、一般入試の前期日程の募集人員に含む。

注4：私費外国人留学生入試の募集人員は、一般入試の前期日程の募集人員に含む。

第3 一般入試

1 出願資格

次の各号の一に該当し、平成30年度大学入試センター試験を受験した者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び平成30年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者並びにこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- (6) 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成30年3月31日までに合格見込みの者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの（事前に資格認定審査を行うので、平成29年8月25日（金）までに本学教務学生課に申し出ること。）

2 選抜方法等

本学の入学者選抜は、美術工芸学部美術学科絵画専攻及び彫刻専攻は分離・分割方式の前・後期日程、美術工芸学部美術学科芸術学専攻、デザイン工芸学科及び音楽学部は分離・分割方式の前期日程により行う。

- 美術工芸学部： 大学入試センター試験の得点と本学が実施する個別学力検査等の得点を合計して総合得点とし、専攻・コース内の総合得点の上位から順に合格者とする。また、調査書も参考にする。
- 音楽学部： 第1次試験の合否判定は、専攻別試験のそれぞれの成績によって行う。ただし、音楽文化専攻においては大学入試センター試験の成績も、第1次試験の合否判定に用いる。最終合否判定は、専攻別試験、音楽に関する基礎能力検査及び大学入試センター試験の得点、並びに調査書の結果を総合的に判断して合格者を決定する。

2段階選抜や帰国子女等のための特別選抜及び定員保留第2次募集並びに欠員募集第2次募集は行わない。

(1) 大学入試センター試験

受験を要する教科・科目及び配点は、別表2（15ページ）・別表3（16ページ）による。なお、各専攻の指定する数以上の教科・科目を受験している者については、特に個別に指定された教科・科目を除いて、得点の高い教科・科目を評価の対象にする。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」の2科目受験者については、第1解答科目の得点を評価の対象にする。また本学では、大学入試センター試験の過年度成績は利用しない。

(2) 個別学力検査等

(ア) 美術工芸学部

試験科目 学科・専攻			実技検査					小論文	面接
			素描	着彩	色彩 構成	立体 構成	塑造		
美術学科	絵画専攻	前期	◎	◎				◎	
		後期		◎				◎	◎
	彫刻専攻	前期	◎				◎		◎
		後期							
	芸術学専攻						○		
デザイン工芸学科	デザイン専攻		◎	◎	◎			◎	
	工芸専攻		◎	◎					

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目、○印は、「いずれか1つの科目を選択する」を示す。

注2：絵画専攻の実技検査は、油画と日本画に分かれており、受験者はそのいずれかを選択する。

注3：芸術学専攻は、実技（素描）と小論文のいずれかを出願時に選択する。

注4：デザイン専攻の実技検査（素描）は、想定描写を含む。

(イ) 音楽学部

試験科目 専攻・コース		専攻試験 (第1次試験)				音楽に関する基礎能力検査 (第2次試験)						
		実技 検査	コー ル ユ ー ブ ン ゲ ン	初見 演技	小論文	楽典 (※注5)	聴音	新曲 視唱	副科 ピアノ	初見 視奏	音楽 又は 舞踊の 実技 (※注6)	初見 視唱
音楽 表 現	声 楽	◎	◎			◎	○	○	◎			
	ピ ア ノ	◎				◎	◎			◎		
	弦 楽	◎				◎	○	○	◎			
	管 打 楽	◎				◎	○	○	◎			
	作曲理論	◎ (口述試験含む)				◎	◎		◎			
音楽 文 化	沖縄文化				◎ (口述試験含む)	◎					◎	
	音 楽 学				◎ (口述試験含む)	◎	○	○	◎			
琉 球 芸 能	琉球古典音楽	◎ (調弦含む)				◎						
	琉球舞踊組踊	◎		◎		○						○

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない。○印は、出願時にいずれか1つの科目を選択する。

注2：各専攻の実技検査の試験曲については、「音楽学部試験曲」に掲載する。
「音楽学部試験曲」の請求方法は11ページ参照のこと。

注3：声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽、コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

(声 楽) ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(弦 楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット、テナー・トロンボーン、バス・トロンボーン、チューバ、打楽器

(琉球古典音楽) 歌三線、琉球箏曲

注4：弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者は、第2志望としてヴィオラを受験することができる。その場合には、第1志望の試験科目の他に第2志望の実技検査を受験しなければならない。

注5：沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、音楽表現専攻及び音楽学コースの楽典とは別問題とする。

注6：音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

【併願可能な専攻・コース】

第2志望		音楽表現専攻					音楽文化専攻		琉球芸能専攻	
		声楽コース	ピアノコース	弦楽コース	管打楽コース	作曲理論コース	沖縄文化コース	音楽学コース	琉球古典音楽コース	琉球舞踊組踊コース
音楽表現専攻	声楽コース					○	○	○		
	ピアノコース	○				○	○	○		
	弦楽コース					○	○	○		
	管打楽コース					○	○	○		
	作曲理論コース	○					○	○		
音楽文化専攻	沖縄文化コース							○	○	○
	音楽学コース	○					○			
琉球芸能専攻	琉球古典音楽コース						○			○
	琉球舞踊組踊コース						○		○	

注：併願の場合には、第1志望の試験科目（第1次試験、第2次試験）に加えて、第2志望の第1次試験を受験しなければならない。

ただし、①音楽学コースと沖縄文化コースを併願する場合は、第2次試験では音楽学コースの科目を受験すること。

②第2志望で作曲理論コースを併願する場合は、第2次試験では作曲理論コースの試験科目を受験すること（ピアノコースを除く）。

③第2志望で琉球古典音楽コースを併願する場合は、第2次試験では琉球古典音楽コースの試験科目を受験すること。

3 出願期間及び選抜期日

学部	学科	日程及び専攻	出願期間	選抜期日
美術工芸学部	美術学科	<前期日程> 絵画専攻、彫刻専攻、 芸術学専攻	平成30年1月22日(月) ～1月31日(水)	平成30年2月25日(日) ～2月27日(火)
		<後期日程> 絵画専攻、彫刻専攻		平成30年3月12日(月) ～3月14日(水)
	デザイン工芸学科			
音楽学部	音楽学科	<前期日程> 音楽表現専攻、音楽文化専攻、 琉球芸能専攻		平成30年2月25日(日) ～2月27日(火)

4 合格者の発表

<前期日程試験>

平成30年3月5日(月) 午前10時 ※学内掲示・本学ホームページ掲載

<後期日程試験>

平成30年3月20日(火) 午前10時 ※学内掲示・本学ホームページ掲載

5 入学手続期間

<前期日程試験合格者>

平成30年3月8日(木)～3月14日(水)

※窓口受付時間：土・日・祝日を除く午前9時から午後5時まで
郵送の場合は3月14日(水)午後5時までに必着

<後期日程試験合格者>

平成30年3月22日(木)～3月27日(火)

※窓口受付時間：土・日・祝日を除く午前9時から午後5時まで
郵送の場合は3月27日(火)午後5時までに必着

第4 推薦入試

推薦入試の概要は次のとおりである。

1 募集人員・出願資格・推薦人員・選抜方法

(ア) 美術工芸学部

(1) 募集人員

学科	専攻	募集人員	
		県内枠	全国枠
美術学科	絵画専攻	1人	1人
	芸術学専攻	1人	1人
デザイン工芸学科	デザイン専攻	2人	2人
	工芸専攻	3人	3人
計		14人	

(2) 出願資格

次の要件をすべて満たしている者

① 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月に卒業見込みの者(平成29年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。)

なお、県内枠に該当する受験者は、沖縄県内の高等学校を平成30年3月に卒業見込みの者(平成29年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。)で、本人又は保護者が平成29年4月1日以前から引き続き沖縄県内に住所を有している者とする。

② 学業成績・人物ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者

③ 調査書の学習成績概評がB段階以上の者

④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

(3) 推薦人員

学科	専攻	推薦人員
美術学科	絵画専攻	1高等学校につき2人
	芸術学専攻	1高等学校につき2人
デザイン工芸学科	デザイン専攻	1高等学校につき2人
	工芸専攻	1高等学校につき2人

平成30年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験の実施教科・配点等について

学部・学科等 及び入学者定員等 (平成29年度志願倍率)	学検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の選抜方法等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技		面接	配点合計
美術工芸学部 (2.8)	前期 2/25~ 2/27	国	を必ず受験 世A,世B,日A,日B,地理A, 地理B,現社,倫,政経,倫・政経 教I,教II・教A, 簿,情報 物,化,生,地学, 物基,化基,生基,地学基(注1)	その他	前期 実技検査 (素描) (着色) 小論文 後期 実技検査 (素描) 小論文 面接	センター試験	100	*100	*100	*100	*100	*100	100				300	
							その他	100	*100	*100	*100	*100	*100	*100	100	600		
美術工芸学部 (2.8)	後期 3/12~ 3/14	理	から1 (ただし、「理科」の基礎を付した科目を選択する場合は同科目から2)	その他	後期 実技検査 (素描) 小論文 面接	計	100	*100	*100	*100	*100	*100	100				1000	
						その他	100	*100	*100	*100	*100	*100	*100	100	700			700
彫刻専攻	前期 2/25~ 2/27	外	英,独,仏,中,韓から1を必ず受験 (英語はリスニングテストを含む。) 〔3教科3科目(ただし、「理科」の基礎を付した科目を選択する場合は4科目)〕	その他	前期 実技検査 (素描) 小論文 面接	センター試験	100	*100	*100	*100	*100	*100	100				300	
						その他	100	*100	*100	*100	*100	*100	*100	100	700			700
芸術学専攻	前期 2/25~ 2/27	その他	から1 (ただし、「理科」の基礎を付した科目を選択する場合は同科目から2)	その他	前期 実技検査 (素描) 小論文 面接	計	100	*100	*100	*100	*100	*100	100				1000	
						その他	100	*100	*100	*100	*100	*100	*100	100	700			700
デザイン工芸学部 (4.4)	前期 2/25~ 2/27	その他	から1 (ただし、「理科」の基礎を付した科目を選択する場合は同科目から2)	その他	前期 実技検査 (素描) 小論文 面接	センター試験	200	*200	*200	*200	*200	*200	200				600	
						その他	200	*200	*200	*200	*200	*200	*200	200	*200			200
デザイン工芸学部 (4.4)	前期 2/25~ 2/27	その他	から1 (ただし、「理科」の基礎を付した科目を選択する場合は同科目から2)	その他	前期 実技検査 (素描) 小論文 面接	計	200	*200	*200	*200	*200	*200	200				800	
						その他	200	*200	*200	*200	*200	*200	*200	200	700			700
工学専攻	前期 2/25~ 2/26	その他	から1 (ただし、「理科」の基礎を付した科目を選択する場合は同科目から2)	その他	前期 実技検査 (素描) 小論文 面接	センター試験	100	*100	*100	*100	*100	*100	100				300	
						その他	100	*100	*100	*100	*100	*100	*100	100	700			700
工学専攻	前期 2/25~ 2/26	その他	から1 (ただし、「理科」の基礎を付した科目を選択する場合は同科目から2)	その他	前期 実技検査 (素描) 小論文 面接	計	100	*100	*100	*100	*100	*100	100				1000	
						その他	100	*100	*100	*100	*100	*100	*100	100	700			700

注1 「理科」の基礎を付した科目を選択する場合には、必ず「理科」の基礎を付した科目から2科目を選択しなければならない。なお、その際の選択科目の総数は、「理科」の基礎を付した科目を選択しない場合に比べて、1科目増えることに注意すること。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄
 (1)各専攻の指定する数以上の教科・科目を受験している者については、特に個別に指定された教科・科目を除いて、得点の高い教科・科目を評価の対象にする。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」の2科目受験者については、第1解答科目の得点を評価の対象にする。また本学では、大学入試センター試験の過年度成績は利用しない。
 (2)英語については、筆記試験とリスニングテストの合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。
 (3)理科の基礎を付した科目については、選択した2科目の合計得点を各専攻の理科の配点に換算して利用する。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄
 (1)配点に*印を付してある教科・個別学力検査等は選択教科・個別学力検査等を表す。
 (2)面接については、総合判定の資料とする。

